

## 大阪府港湾局 平成30年度主要事業について

補助事業：汐見3号岸壁予防保全事業（平成30年度当初予算額 790,000千円）（別途、債務負担行為 400,000千円）

府営港湾全体での合板取扱貨物量は全国シェア3位・西日本では1位を誇る。当該岸壁は合板輸入における主要な岸壁であるが、コンクリートの剥離などの老朽化が激しくなっており、岸壁の一部区間については現在、利用制限をかけている状況。早急に補修を行う必要があることから、平成2工年度より岸壁上部工の更新事業に着手している。

交付金事業：泉大津大橋耐震化事業（平成30年度当初予算額 230,000千円）（別途、債務負担行為 220,000千円）  
海岸施設長寿命化事業（平成30年度当初予算額94,000千円）

- ・ 災害時における緊急物資等の輸送ネットワークを維持するため、耐震強化岸壁につながる泉大津大橋について、必要な耐震化事業を実施し、安心・安全の確保につなげる。
- ・ 老朽化が進む水門・排水機場等について、計画的な維持補修を実施するため、施設の長寿命化計画を策定する。

単独事業：港湾・海岸施設の維持補修（平成30年度当初予算額 1,631,914千円）

平成27年3月に策定した大阪府都市基盤施設長寿命化計画に基づき、老朽化が進む岸壁・橋梁等について長寿命化を基本とした計画的・効率的な維持補修を行う。

大津航路浚渫等国直轄事業（平成30年度当初予算額：267,267千円）

- ・ 西日本エリアにおける中古車輸出の需要増加、船舶大型化に対応することによる物流効率化のため、航路の浚渫を行う（水深-12m→-14m）。

〔平成30年度実施内容〕 航路浚渫

- ・ 京阪神都市圏における大規模震災時において、広域的な災害対策活動を効果的に展開するために必要な基幹的広域防災拠点を整備し、京阪神都市圏の防災安全性の向上を図る。また、平常時における市民の憩いの場を提供する。

〔平成30年度実施内容〕 臨港道路 設計・調査等

南海トラフ巨大地震に対する堤防等の耐震対策（平成30年度当初予算額：2,779,000千円）（別途、債務負担行為 1,137,000千円）

- ・ 5か年対策箇所（第一線防潮ライン（海域に直面））については、平成30年度末の完成を目指し、着実に対策を進めていく。
- ・ 10か年対策箇所（埋立地背後（陸堤））については、5か年対策の完了を待たず、平成29年度より早期着手（設計委託）を行っており、平成30年度より工事着手（一部）を行う。